

科目名	社会福祉特講Ⅱ(国家試験対策)					開講 キャンパス	神 埼
担当者	社会福祉学科教員						
開講年次	4	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	国家試験関連科目についてオムニバス形式で講義を実施し、これまで学習してきた知識・技術の総括的な確認を行う。また、将来の福祉専門職にとって必要な知識のポイントや国家試験の出題傾向について、解説を加え、理解を深めさせる。その他、模擬試験等の結果を踏まえ、習熟度別クラスを編成し、弱点克服のための対策講座を行う。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国家試験に必要な知識・内容について理解する 2. 国家試験科目の出題傾向を理解する 3. 自分にあった学習方法を習得し、自主的かつ計画的に学習に取り組むことができる 4. 模擬試験等を通して、学習状況を確認し、得意科目、不得意科目について理解できる 5. わからなかった問題について、教科書等で調べ理解することができる 6. 試験問題を制限時間以内で解答することができる 						
学習方法	オムニバス形式での講義、グループ別・個別指導など						
テキスト及 び参考書等	開講前に指定テキスト等を指示、また指定の模擬試験を受験すること						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○	○	○	○	60	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度	○	○	◎			20	
受講者の発表							
授業への参加度	○	○	◎			20	
その他	出席回数が開講回数の2/3に満たない場合は、評価対象としない						
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	オリエンテーション						
第2週	科目別対策講座①(人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援、社会理論と社会システム)						
第3週	科目別対策講座②(現代社会と福祉、地域福祉の理論と方法、福祉行政と福祉計画)						
第4週	科目別対策講座③(社会保障、障害者に対する支援と障害者自立支援制度)						
第5週	科目別対策講座④(低所得者に対する支援と生活保護制度、保健医療サービス、権利擁護と成年後見制度)						
第6週	科目別対策講座⑤(社会調査の基礎、相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法)						
第7週	科目別対策講座⑥(福祉サービスの組織と経営、高齢者に対する支援と介護保険制度)						
第8週	科目別対策講座⑦(児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、就労支援サービス、更生保護制度)						
第9週	習熟度別対策講座①(グループ別学習等)						
第10週	習熟度別対策講座②(グループ別学習等)						
第11週	習熟度別対策講座③(学外施設にて勉強合宿等)						
第12週	習熟度別対策講座④(学外施設にて勉強合宿等)						
第13週	習熟度別対策講座⑤(直前対策講座等)						
第14週	習熟度別対策講座⑥(直前対策講座等)						
第15週	習熟度別対策講座⑦(直前対策講座等)						
第16週	まとめ:学内模擬試験						
備考	<p>【授業外の学習】・受講前は当該科目の試験範囲に沿った自己学習を行い、受講後は確認テスト等の復習を行うこと</p> <p>【その他】・本講義は、国家試験の受験希望者は必ず履修すること</p> <p>・勉強合宿(自己負担あり)ならびに第16週実施の学内模擬試験(有料)は、全員受験すること</p>						